

「まちかどミーティング(地域巡回)」概要 (南部公民館)

日時・場所 平成 21 年 7 月 13 日(月) 午後 7 時～ 8 時 45 分 南部公民館  
市民参加者数 54 人  
市側出席者 市長・企画部長・総合政策課長・地域情報課長・同課広報広聴係長・同係主査  
財政課長・市民保険課国民健康保険係長

市長市政報告 (19:00～19:35)

- ・市町村合併の効果
- ・市役所変革における「笑顔」と「あいさつ」・「感謝と思いやり」
- ・総合計画「“わ”のまち能代」の意義
- ・「リサイクルポート」と「県北エコタウン構想」
- ・「バイオマスタウン構想」と「農業政策」

市民との対話 (19:35～20:45)

Q 材木関係自営で、経済情勢は非常に厳しく、常に先行き不安である。市議報酬だが、全国では日給制にしたところもある。議員にも市民目線のボランティア的要素があってもよい。そのような改正はできないか。

A 木材業の厳しさは認識しており、木都能代として公共施設は木質化を図っていきたい。  
議員報酬は、行政と議会は立場が違い(3権分立)、直接の要請・勧奨等はないが、要望は伝えたい。

**検討内容**...11/25 開催の議会運営委員会で、要望内容を報告。

Q 「医療費通知」は、郵送料等経費もかなりかかっていると思う。中止してもよいのでは？

A 国の指導で年 6 回行い、皆さんが内容をチェックし、医療費請求の誤りを直す等のメリットもある。また、経費も県からの交付金もある。理解いただきたい。

Q 諸問題の根本は、景気が悪く、活性化していないこと。街は高齢者のみ。総合計画「“わ”のまち能代」はきれい事に感ずる。もっと実効性のある市の活性化策が必要。

A そのとおり。基本は働く場所が必要。若い世代が残り、結婚し子供を産むという地道な活動しかない。ソトの“わ”のまちとハードの働く場の提供、重要なのは、その「働く場」を作ること。努力したい。

**検討内容**...21/7 月から雇用相談員を配置し、企業の情報収集に努めている。

Q せっかくの高速道路。IC 付近に「道の駅」を整備しては？

A 道路を活用し、人を呼ぶ方法は検討している。「道の駅」も一案だが、国交省の管轄で、今後も協議したい。

**検討内容**...新施設整備は関係機関と協議したいが、建設後の維持管理等も考慮の必要。また、南 IC 付近には「ねぎっこ村」や近隣のエリアパーク等があり、民間との競合等についても考慮が必要。

Q 市には財源も資源もない。風力発電の話もあるが「原子力発電所」に手を挙げたら？青森を見たが、金も潤うし、クリーンエネルギーといわれる。大きな反対もあるだろうが、議員も含めて一度話題にしてほしい。

A 日本のエネルギー事情を含めて考えなければならないが、市民の理解が得られるか。それに尽きる。現段階では難しい。

**検討内容**...議会へは 11/25 開催の議会運営委員会で要望内容を報告したが、

安全性や放射性廃棄物の問題等、市民理解への課題も大きく、現段階では難しい。

**Q** 合併の基本は 10 万人都市が基準と聞く。関連法律は時限立法で、来年合併特例債の期限。「能代市」「八峰町」「三種町」で、再度広域合併の協議する気はないか。

**A** 私見だが、現在それぞれが、実際の財政状況を分析し、先に向かうところ。人口規模では 10 万人が理想だが、さらなる合併をした場合、財政への不安が市民の側でも大きく、現段階では難しいと思う。

**検討内容**...平成の大合併は一区切りつき、各自治体では基盤づくりに全力を上げている最中。当面は、広域的な連携・分担を図る「定住自立圏構想」活用等検討したい。

**Q** 市広報だが、毎日の行事等は北羽新報にも載る。財政面・効率面からも月 1 回で良いのでは？自治会の配付役員は、その手間が大変である。

**A** 今年から、「通常版」「お知らせ版」と分けて経費削減を図っている。北羽新報は未購読世帯もあり、「公共の広報」としての情報伝達のため月 2 回体制を取っている。今後検討するが、理解をいただきたい。

**検討内容**...平成 21 年度の市民意識調査で調査し、22 年度以降の発行体制を検討する。

**Q** 今後の高速道路体系について、広域(北秋地域まで)の公的機関の活用としての将来への位置づけとしてもしっかり考えるべき。

**A** 平成 20 年代には、大館方面 - 北空港間は整備予定で、二ツ井白神 - 北空港間が残される。このルート整備は見通しが立っていないが、各方面と協議し、「現道活用型の高速化」として、既存の国道を活用し、接続に工夫すれば 2/3 ~ 1/2 の経費でできるのではと相談している。

**Q** 柏子所等様々な遺跡等が発掘されるが、展示場がない。「資料館」についての検討はどうなっているか？

**A** 「歴史博物館」は、現段階では総合計画に載っていない。財政的な問題もあり、今後の検討課題としたい。

**検討内容**...総合計画で「既存施設の活用を検討する」としており、今後の庁舎整備等の状況を踏まえながら設置を検討していく。

**Q** 「市内巡回バス」だが、南部地区もバスの整備で道路事情もよくなった。当地へのルート延伸を考えてほしい。

**A** 現在「公共交通機関」の見直しの協議を始めた。「巡回バス」もその中で精査し、市民の利便を考え検討していきたい。

**検討内容**...現在調査を行っており、22 年度に見直しを行う予定。

**Q** 浅内の旧国道だが、日本海中部地震でコンクリート舗装が被害を受け、その上にアスファルト舗装して補修されたが、その後地盤も緩み、車の振動等で周辺の家に影響がでており、根本的な対策がされない。新事業も必要だが、市民の生活基盤整備(補修)も重要ではないか

**A** 道路の状況は一度確認したい。

**検討内容**...10/13 舗装の打ち替え工事を完成。解決済

Q どの市町村も、「まちづくり・活性化」に努力しているが、「ボランティア」が重要になってくると思う。その「ボランティア」に対する市長の考え方は？

A 市職員は減るが仕事は増え、行政が担えなくなる部分が今後出てくる。市民も協働して受け持ってほしい。その方が効率的な場合もある。「ボランティア」は無償という気持ちはなく、有償でも構わないと思う。

Q 今日、言い足りない分や、時間で話をできなかった人もいると思う。市として「市政モニター」をおいらいかがか。

A 市長と対話する機会は、「ランチで対話」や地域巡回以外の「まちかどミーティング」等、広く門戸は開いている。希望は地域情報課で受けるので申し込んでほしい。